

## 今夏の安定供給に向けた取り組みについて

### 1. 供給面の取り組み例

#### ○発電所の補修時期の調整および補修・点検等の確実な実施

需要が高くなる7月中旬～8月末は、定期点検等を可能な限り回避するよう調整し、各ユニットの補修・点検を確実に進めています。

#### ○自家発電余力電力の調達拡大

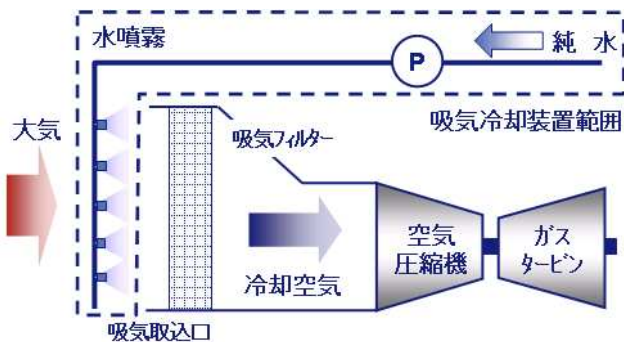
当社サービス区域内の自家発電設備を有するお客さまにご協力いただき、13.2万kWの自家発電余力電力を調達します。（昨年度夏季実績：7.4万kW）

#### ○ガスタービン吸気冷却装置の設置

外気を吸入・圧縮して、燃焼によるエネルギーで発電するガスタービンは、夏季、気温上昇による空気密度（空気質量）の減少で、出力が低下します。

このため、当社では初めての取り組みとして、出力低下を小さくすることのできるガスタービン吸気冷却装置\*を設置し、供給力を積み増す計画としています。

【ガスタービン吸気冷却装置の設備概要】



【設置ユニットと出力回復効果・運用期間】

	水島1号機	柳井1号系列
出力回復効果	0.4万kW×1軸	0.2万kW×6軸
合計	1.6万kW	
運用期間	7月～9月の日中	

\*ガスタービン吸気冷却装置

燃焼用空気の吸気取込口に噴霧ノズルを設置し、霧吹のように噴霧することにより水の気化熱（蒸発潜熱）で空気温度を下げる装置。

### 2. 需要面の取り組み例

今夏は、沖縄を除く各地域において、国により数値目標を伴わない節電要請（定着節電分の確実な実施）がなされることとなっており、当社としても以下のような取り組みを進めてまいります。

#### ○節電要請を踏まえたPR活動

国による節電要請を踏まえ、当社では、お客さま訪問活動をはじめ、マス媒体やホームページ等を活用した節電意識の喚起や上手な電気の使い方の周知等に積極的に取り組んでいます。

<PR活動の主な取り組み>
・節電に関するチラシの全戸配付
・訪問等の機会を活用した節電への協力依頼
・テレビ等各種媒体を活用した広告
・当社ホームページによる周知（でんき予報）
・当社事業所での懸垂幕等の掲示 [7/1～]

## ○契約メニューの活用による需要抑制

### <新料金メニュー「電灯ピークシフトプラン」の追加>

夏季のピーク時の需要抑制および更なる負荷平準化の促進のため、夏季（7月～9月）のピーク時間帯（13時～16時）の料金を割高に設定する一方、夜間時間帯の料金を割安に設定した新料金メニュー「電灯ピークシフトプラン」を追加し、7月1日から実施します。

### <需給調整契約の活用>

需給調整契約には、当社の系統事故時や需給逼迫時に、お客さまの負荷の調整や遮断を行っていただくことで電力需給の安定化を図る随時調整契約や、夏季の重負荷期に休業日設定や計画的な負荷調整を行っていただくことにより、電力需給の安定化と電力供給設備の効率的な利用を図る計画調整契約があります。

今夏も昨夏と同様、お客さまのご協力をいただいています。

## ○BEMSアグリゲータ等との協業による需要抑制の試行的実施

アグリゲータ<sup>※1</sup>を活用した需要抑制対策を試行的に実施します。

具体的には、当社とBEMS<sup>※2</sup>アグリゲータ等が契約を締結し、アグリゲータは当社の依頼に応じて、自社が管理しているBEMS機器等を導入しているお客さまの中から、需給逼迫時に節電していただけるお客さまを募集し、節電量のとりまとめを行うという取り組みで、当社としては初めての取り組みとなります。

#### ※1：アグリゲータ

中小ビル等のお客さまにBEMS機器等のエネルギーを管理する機器を設置し、お客さまのエネルギー使用状況を管理している事業者。

#### ※2：BEMS(Building And Energy Management System)

ビル等で使用する電力消費量の「見える化」を図り、空調・照明等の制御やデマンドピークを抑制・制御する機能等を有するエネルギー管理システム。

以 上